

学位審査結果報告書

学位申請者氏名 廣島屋 貴俊

学位論文題目 75歳以上在宅要支援・要介護高齢者における全身の骨格筋量と舌圧に関する予備的研究

A pilot study of the relationship between whole-body skeletal muscle mass and tongue pressure in ≥ 75 -aged individuals requiring home-based care support

審査委員 (主査) 藤井 航



(副査) 邵 仁浩



(副査) 角館 直樹



学位審査結果の要旨

本研究は在宅要支援・要介護高齢者における全身の骨格筋量と舌圧との関連を検討することを目的とした。

75歳以上で在宅医療・介護サービスを利用している男女64名(平均年齢=86.4歳, 男性18名, 女性46名)を調査対象とした。舌圧測定器を用いて舌圧を測定した。また, 体成分分析装置を用いて四肢骨格筋量を計測した。その後, 四肢骨格筋量を身長²で除した値を骨格筋指数(SMI)として算出した。そして, 説明変数をSMI, 目的変数を舌圧とするロバスト回帰分析を行い両者の関連を評価した。共変量は単変量解析において舌圧と有意な関連を認めた因子とした。

単変量解析にてSMIと舌圧の間に有意な正の関連を認めた。続いて, 多変量解析を実施した結果, 関連する他の因子で調整した後も, SMIと舌圧の有意な正の関連は保持された(回帰係数=3.6, 95%信頼区間=1.6, 5.5, $p < 0.01$)。

本研究結果から, 75歳以上の在宅要支援・要介護高齢者において全身の骨格筋量と舌圧の間には正の関連があることを明らかにした, 非常に有意義な論文である。

本学位審査においては, 公開審査における質疑応答も概ね適切な回答を得た。主査と副査2名による合議の結果, 審査委員会では, 本論文の内容は学位論文として価値あるものと判断した。